

第18回 摺上川ダム茂庭っ湖 「森づくり大作戦」に参加しました。

福島森林管理署

令和4年10月23日（日）、摺上川ダム直下の新広瀬橋上流にて、第18回目となる摺上川ダム茂庭っ湖「森づくり大作戦」が開催されました。

この「森づくり大作戦」は、摺上川ダム建設工事の資材置き場跡地等にコナラなどの苗木を植えて森を再生するプロジェクトで、平成13年度から毎年開催してきましたが、令和元年度以降、台風や新型コロナの感染拡大防止のため中止となっていたため、4年ぶりの開催となりました。



当日は、親子連れなど96名が参加し、参加者はコナラの植栽とレンゲツツシの植栽の2グループに分かれ、移植コテを片手に慣れた様子で植栽し、その後は、平成20年頃に植栽されたコナラの枝の剪定作業に汗を流しました。

剪定作業終了後は閉会式と記念撮影を行い、摺上川ダムを水源とする福島市の水道水「ふくしまの水」のペットボトルと、コースター、ポストカード等のお土産を受け取り、解散となりました。

閉会后には摺上川ダムの特別見学会が催され、希望者と事前申込者の58名が摺上川ダムの監査廊と呼ばれる堤体内部の通路を散策しました。

